

出走前のパドックの様子
(JRA日本中央競馬会 提供)

まちの宝を再発見Vol.2

名馬が駆け、名勝負に湧く 阪神競馬場とその歴史

地元の人々にとって、阪神競馬場とはどのような存在でしょうか。「開催日は電車や道路が混雑する」といった印象をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。しかし、それほどまでに多くの人々を熱狂させる理由が、この場所にはあります。今や馬券は自宅でも買える時代です。それでも全国から人々が集まり、数万人が一斉に熱狂するのは、そこで繰り広げられる「名馬のドラマ」と「名勝負」に心が揺さぶられるからにほかなりません。歴史に名を残す名馬たちの足跡、そして時に人々の想像を超える“奇跡”が起きてきた阪神競馬場。それは人と馬が織りなすドラマが宝塚の歴史となり、未来へ語り継がれます。
旭堂南鷹の迫力ある競馬講談と語りで、まちの宝である阪神競馬場の歴史を深掘りします。



旭堂南鷹（講談師）

競馬講談は講談界初となる創作部門の継承化を達成。競馬講談はグリーンチャンネル『名馬名勝負』で全13本の冠番組となる。他にもKBS京都『競馬ワンダーランド』でキャスターを務め、東スポでは予想コラムの連載するなど活動。古典に於いても迫力ある軍記物講談には定評がある。

2026年12月11日(金)

【時　間】14:00～15:30(30分前開場)　　【会場】宝塚市立中央公民館 ホール
【入場料】500円(要予約、先着順)
【申　込】11月13日(金)10:00～より受付開始
①電話：0797-69-6831　②WEB申込フォーム(二次元コードから→)
※手話通訳・要約筆記を希望される方はお申込み時にお伝えください。11月27日(金)までとさせていただきます。

お問い合せ：宝塚市立公民館 事業担当
0797-69-6831(9:00～17:00)
主催：宝塚市立公民館
(指定管理者/アクティオ(株))
後援：宝塚市教育委員会



＜アクセス＞
阪急「逆瀬川駅」下車、
東へ徒歩約12分。
バスロータリー7番乗り場より
「宝塚市役所前」下車すぐ。

※末広駐車場(1h無料)

宝塚市立公民館
Takarazuka Community Center